

平成27年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

事業名	電子カルテデータ標準化のためのIT基盤構築事業			担当部局	医政局		作成責任者	
事業開始年度	平成26年度	事業終了(予定)年度	平成27年度	担当課室	医療経営支援課 国立病院機構管理室		課長：佐藤美幸	
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-3-1 医療情報化の体制整備の普及を推進すること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	「日本再興戦略」改訂2014 -未来への挑戦- (平成26年6月24日閣議決定) 平成27年2月16日厚生労働省発医政0216第2号「地域診療情報連携推進費の国庫補助について」			
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療機関の診療情報の共有は、病診連携や医療機関の機能分化の観点から、非常に重要なものである。その中で電子カルテが持つ情報は、病因の特性や規模、取り扱う疾患領域などによりばらつきがあり、特にベンダーの異なる電子カルテについてはばらつきが大きくなりやすいため、情報集約が困難となる。この障害を乗り越えて電子カルテ情報を集約し、利活用できる環境整備を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国立病院機構において、病院間でばらつきのある電子カルテ情報を統一させるためにデータマッピングを行った上で、SS-MIX2(標準化ストレージ機能)を用いて電子カルテ情報の標準化等を行うための経費について補助するもの。							
実施方法	補助							
予算額・執行額 (単位:百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-		
		補正予算	-	-	1,298	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	1,298		
		翌年度へ繰越し	-	-	▲ 1,298	-		
		予備費等	-	-	-	-		
	計	0	0	0	1,298	0		
	執行額	-	-	-	-			
執行率 (%)	-	-	-	-				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	電子カルテ情報の標準化の実施	電子カルテ情報標準化実施病院数	成果実績	件	-	-	0	
			目標値	件	-	-	0	20
			達成度	%	-	-	0%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	ベンダー毎の電子カルテ情報標準化に係る作業報告書	活動実績	件	-	-	0		
		当初見込み	件	-	-	0	6	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	当該年度執行額 / 対象施設数	単位当たりコスト	百万円	-	-	0	65	
		計算式	X / Y	-	-	0/20	1,298/20	
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	-	-						
	計	0	0					

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	医療の質の向上等のために、医療機関間の医療情報の共有を可能にする電子カルテの標準化事業は国民にとって必要な事業であり、国費を投入して実施すべきである。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	同一主体である国立病院機構の病院で整備を実施することは、統一的な指示が出しやすい等のメリットを生かすことができるため、国立病院機構で事業を実施することは適当である。			
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	日本再興戦略において、医療情報連携ネットワークの普及促進が課題とされており、これに対応するためには、医療機関間の医療情報の共有化が必要なため、優先度の高い事業である。			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	-			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	-			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-			
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか	-	-			
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか	-	-			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-			
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
	-	-	-			
点検・改善結果	点検結果	-				
	改善の方向性	-				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	/
平成25年度	-	平成26年度	-			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省

1,298百万円

【補助金】

(独)国立病院機構

1,298百万円

データの収集方法等利用のあり方や  
ルールを検討するために必要な経費  
(旅費、会議費等)

A 株式会社三菱総合  
研究所  
89百万円  
診療情報データベース構築  
に係るコンサルティング  
(委託費)

B (独)国立病院機構病院  
●施設 ●百万円

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて補  
足する)  
(単位:百万円)

<b>費目・使途</b> (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A. 株式会社三菱総合研究所			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	委託費	診療情報データベースに係るコンサルティング業務	89			
	計		89	計		0
	B. ●●医療センター			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0	
D.			H.			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
計		0	計		0	

**支出先上位10者リスト**

A. 株式会社三菱総合研究所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社三菱総合研究所	診療情報データベースに係るコンサルティング業務	89	2	48%

B. ●●医療センター

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					